

直管形LEDランプ



最新技術工法で作った **LED**ランプ



誰でも簡単交換

電気工事が不要で、今ある蛍光灯を付け替えるだけ!

信頼の **MADE IN JAPAN!**

海外製の多いLED蛍光灯。
本製品は信頼のオールジャパン!

長寿命 約50,000時間

初期性能の約70%に低下するまでが約50,000時間。
実はまだまだ使えます。

ポリカーボネート製で丈夫!

素材はポリカーボネート製でとても丈夫!
割れて破片が飛び散ることはありません。

小規模・段階導入が可能!

一部分だけの小規模導入が可能!経費で落としやすい!

期待に応える削減効果!

蛍光灯に比べ消費電力・電気料金を約50~60%削減。

よく使う3つのサイズをご用意

よく使われる3種類(110形・40形・20形[※])の長さをご用意しました。

[※]20形は受注生産になります。

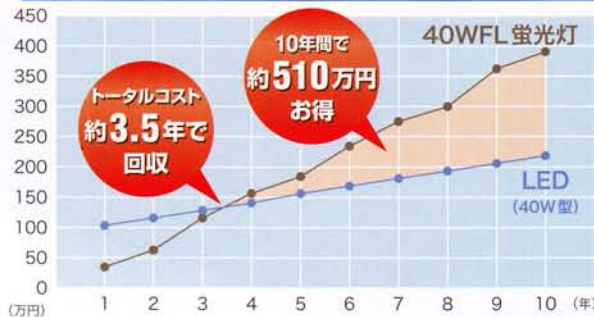
LED 蛍光灯の期待に応えます

蛍光灯に比べ消費電力・電気料金を **約55%削減!**

40WFL 蛍光灯とLEDの特性比較 (100本使用時)

	40WFL 蛍光灯	LED (40W型)
消費電力	32W	約半分 → 16W
年間電気料金	280,320円/年	約55%ダウン → 129,648円/年
年間消費電力	4,000W	約55%ダウン → 1,850W
年間CO ₂ 排出量	24,808kg-CO ₂	約1/4 → 6,928kg-CO ₂
光源寿命	10,000時間	約5倍 → 50,000時間

40WFL 蛍光灯とLEDの経済性比較 (100本使用時)



■試算条件 / ・電気料金: 16円/kwh ・点灯時間: 12時間/日 (4,380時間/年) ・ランプ交換人件費: 3,200円/台とした場合 ・コストは税抜表示

LED 蛍光灯比較

今までのLED 蛍光灯	新しいLED 蛍光灯
蛍光灯台座に設置されている電気回路を改造する必要がある、それには電気工事士の資格が必要で一般の方にはできない。	古くなった蛍光灯を交換するのと同じ要領で一般の方でも簡単に交換できます。
会社設備全体の一括購入が基本。	今回はこの部屋、ここだけ、のように小規模、段階的な導入も可能。
一括導入が基本となるため、会計上の扱いが設備投資になり、減価償却対象。そのかわり補助金対象になるメリットも・・・。	会計上の扱いは備品・消耗品。30万円未満の少額で導入であれば経費計上対象です。ただし補助金の対象になりません。
LED 蛍光灯はコストの安い海外製が主流。	信頼のMADE IN JAPAN。全国でも屈指の技術工業地帯である静岡県西部 (湖西市) にて一貫生産。

製品仕様

種別	従来ラピッドスタート式40形安定器専用 (2灯式)	従来ラピッドスタート式110形安定器専用 (2灯式)
色合い	昼白色 (約5,000K)	昼白色 (約5,000K)
管長さ	1,198mm	2,367mm
管径	φ30	φ30
口金	G13 (蛍光灯タイプ)	R17d・Rx17d
照度	230Lux	420lx (1灯時)
光効率	95.3lm/W	95.3lm/W
使用温度範囲	-20~40°C	-20~40°C
注	※ 樹脂カバー (日本製) を使用しておりますので、万が一落下してもガラス管と違い破片が飛散することはありません。 ※ 電源直結方式、グロースターター式、インバーター式、ラピッドスタート式1灯用には使用できません。	※ 樹脂カバー (日本製) を使用しておりますので、万が一落下してもガラス管と違い破片が飛散することはありません。 ※ 電源直結方式、グロースターター式、インバーター式、海外製灯具には使用できません。

Q&A

Q: どうして電気工事が不要なの?

A: LED 蛍光灯そのものに回路が組み込まれていて、電気工事をしなくても大丈夫な設計になっています。

Q: 女性でも交換できますか?

A: 古い蛍光灯を交換するのと全く同じ要領で設置できますので、少し慣れれば女性でも簡単ラクラク交換できます。実際導入された企業様でも女性事務員が交換されている事例が多くあります。

Q: LED 蛍光灯は一括購入が基本と聞きましたが・・・。

A: 今までのLED 蛍光灯導入は工場一括導入が常識でした。このLED 蛍光灯は数本からの導入も可能ですので、例えばよく利用するワンフロアのみ導入することも可能です。

Q: 補助金は使えるの?

A: 補助金は一括導入をする際の多額な初期投資を補助し、電気工事があることを

条件に含みますが、このLED 蛍光灯は電気工事を伴わず、比較的少額での導入ができますので補助金対象にはなりません。(平成27年7月現在)

Q: 会計処理上は設備費にあたり減価償却を考慮する必要はありますか?

A: 中小企業の場合、30万円未満の設備なら備品・消耗品に分類され、損金で計上できます。その範囲を超えないよう段階的な導入を行っている事例もあります。

販売元



サンコムラード株式会社

～省エネに貢献していきます～

〒430-0913 静岡県浜松市中区船越町22番13号

電話 090-1626-0356

メール suncomrado@sky.plala.or.jp

代理店